

委員会企画パネルディスカッション

■ 2025年7月12日(土) 10:10～11:40 皿 第4会場 (男女共同参画センター 1F 多目的ホール)

委員会企画パネルディスカッション6 (III-CPD6)

「いのちの授業」活動報告

座長：内田 敬子 (東京医科大学 細胞生理学分野)

座長：山澤 弘州 (北海道大学大学院医学研究院 小児科)

[III-CPD6-5] 「いのちの授業」ー過去から現在までの取り組みと今後の展望ー

○土井 庄三郎¹, 田原 昌博², 中村 蓉子³, 山村 健一郎⁴, 齋藤 久美⁵, 佐々木 昭弘⁶, 佐藤 毅⁷, 種市 尋宙⁸, 山澤 弘州⁹, 内田 敬子¹⁰ (1.東京科学大学 医学部 小児科, 2.広島中央通りこどもクリニック, 3.土浦協同病院 小児科, 4.九州大学 医学部 小児科, 5.筑波大学附属小学校 養護教諭, 6.筑波大学附属小学校 校長, 7.東京学芸大学附属国際中等教育学校 保健体育科教諭, 8.富山大学 医学部 小児科, 9.北海道大学 医学部 小児科, 10.東京医科大学 医学部 細胞生理学分野)

キーワード：いのちの授業、学会と教育の連携、心臓移植

【過去】私たちが現在取り組んでいる「いのちの授業」は、2018年～2020年に開催した医学教育事業「PH Japan Project」に端を発している。児童・生徒の学校保健に携わる養護教諭を主な対象とし、小児心疾患に関する幅広い教育講演を計4回行った。その中で学校教諭による「いのちの授業」に初めて出会い、「社会に開かれた授業」を推奨する新しい学習指導要領を追い風に、私たちが自ら「いのちの授業」を実践した。小児循環器医師が児童・生徒に行う「いのちの授業」は、とても大きなインパクトを持つことを実感した。そして学会活動としての持続性を考え、学会内に「学会と教育の連携」委員会を発足させた。【現在】この1年間に、各委員は複数の「いのちの授業」を実践してきた。委員間の意見交換会では、複数ある選択肢の中で「心臓移植」のテーマは、正解の無い問いに対して個々人の納得解を導き、生きる価値を実感させる点で相応しいことを再認識した。東京都予防医学協会の支援もあり「いのちの授業」の啓蒙を目的に、学校保健セミナーで「学校教諭との連携"いのちの授業"～子どもたちの生きる力を育むために～」を配信し、「よぼう医学 2025 WINTER No.27.新年号」に原稿執筆した。そして私たちの念願であった「いのちの授業」ページを学会HPにアップした。【展望】学校教諭との交流や意見交換を更に進めることで、「いのちの授業」をbrush upしていきたい。「いのちの授業」の全国展開に向けて、押さえるべき点を明確にする必要がある。昨年度行った大学看護学部での「いのちの授業」は、全講義の中で最高の学生評価を獲得した。今年度は1看護学部と1医学部を新たに加え、心臓移植/肺移植後患者の体験談とともに、「いのちの授業」を計画している。また日本臓器移植ネットワークと協働し、文部科学省後援の「いのちの教育セミナー」で、全国に発信したいと考えている。